

科目名 (Subject)	現代財務会計情報特論 (英字表記) Topics in Modern Financial Accounting Information		
単位数 (Credits)	2 単位	(開講時期)	後期
担当教員名 (Name)	坂柳 明 (英字表記) Akira SAKAYANAGI	研究室番号 (Office)	423
Office Hours	金曜 : 15 : 00 ~ 15 : 30		
<p>1. 授業目的・方法 (Course objective and method)</p> <p>この授業では、1つ目に、博士後期課程において財務会計分野で研究を進める上で必要になる、基本的な知識の修得を目的とする。そのために、この授業では、監査論におけるゴーイング・コンサーン問題とも関係が深い、古典的な文献 (3. 使用教材を参照) を取り上げる。また、2つ目に、この授業では、近年日本でも行われている実証研究の論文のうち、3. 使用教材に掲げた、須田一幸編、『会計制度の設計』、白桃書房、2008年、で取り上げられている論文をいくつか解説する。</p> <p>この授業では、まず、事前に3. 使用教材に掲げた文献を読んできてもらい、重要な箇所を授業中のその場で翻訳してもらおう。次に、各文献に見られる財務会計の研究上の論点を指摘する。以上が、授業の方法である。</p> <p>2. 授業内容 (Course contents)</p> <p>以下に示す「文献1」から「文献6」とは、3. 使用教材に示す文献を指す。</p> <p>1. オリエンテーション、及び文献1のIntroductionの解説、及び研究上の論点の指摘。 <u>予習課題</u> 文献1のPart I (pp.11-22) を読んでくる。 <u>復習課題</u> Introductionの解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらおう。</p> <p>2. 文献1のPart I (pp.11-22) の解説、及び研究上の論点の指摘。 <u>予習課題</u> 文献1のPart II (pp.25-52) を読んでくる。 <u>復習課題</u> 文献1のPart I 1 (pp.11-22) の解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらおう。</p> <p>3. 文献1のPart II (pp.25-52) の解説、及び研究上の論点の指摘。 <u>予習課題</u> 文献1のPart III (pp.55-97) を読んでくる。 <u>復習課題</u> 文献1のPart II (pp.25-52) の解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらおう。</p> <p>4. 文献1のPart III (pp.55-97) の解説、及び研究上の論点の指摘。 <u>予習課題</u> 文献1のPart IV ~ V (pp.101-116)、文献2のI ~ IIの解説を読んでくる。 <u>復習課題</u> 文献1のPart III (pp.55-97) の解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらおう。</p> <p>5. 文献1のPart IV ~ V (pp.101-116)、文献2のI ~ IIの解説、及び研究上の論点の指摘。 <u>予習課題</u> 文献2のIII ~ IVを読んでくる。 <u>復習課題</u> 文献1のPart IV ~ V (pp.101-116)、文献2のI ~ IIの解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらおう。</p> <p>6. 文献2のIII ~ IVの解説、及び研究上の論点の指摘。 <u>予習課題</u> 文献3のChapter 1 ~ 2 (pp.1-20) を読んでくる。 <u>復習課題</u> 文献2のIII ~ IVの解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらおう。</p> <p>7. 文献3のChapter 1 ~ 2 (pp.1-20) の解説、及び研究上の論点の指摘。 <u>予習課題</u> 文献3のChapter 3 ~ 4 (pp.21-37) を読んでくる。 <u>復習課題</u> 文献3のChapter 1 ~ 2 (pp.1-20) の解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらおう。</p> <p>8. 文献3のChapter 3 ~ 4 (pp.21-37) の解説、及び研究上の論点の指摘。 <u>予習課題</u> 文献3のChapter 5 ~ 6 (pp.38-55) を読んでくる。 <u>復習課題</u> 文献3のChapter 3 ~ 4 (pp.21-37) の解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらおう。</p> <p>9. 文献3のChapter 5 ~ 6 (pp.38-55) の解説、及び研究上の論点の指摘。 <u>予習課題</u> 文献5を読んでくる (1回目)。 <u>復習課題</u> 文献3のChapter 5 ~ 6 (pp.38-55) の解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらおう。</p>			

10 文献5の解説、及び研究上の論点の指摘（1回目）。

予習課題 文献5を読んでくる（2回目）。

復習課題 文献5の解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらう（1回目）。

11 文献5の解説、及び研究上の論点の指摘（2回目）。

予習課題 文献6を読んでくる（1回目）。

復習課題 文献5の解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらう（2回目）。

12 文献6の解説、及び研究上の論点の指摘（1回目）。

予習課題 文献6を読んでくる（2回目）。

復習課題 文献6の解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらう（1回目）。

13 文献6の解説、及び研究上の論点の指摘（2回目）。

予習課題 文献4の中から、相談の上、受講者に関心のある章をいくつか読んできてもらう（1回目）。

復習課題 文献6の解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらう（2回目）。

14 文献4の解説、及び研究上の論点の指摘（1回目）。

予習課題 文献4の中から、相談の上、受講者に関心のある章をいくつか読んできてもらう（2回目）。

復習課題 文献4の解説の後、疑問に感じたところを次回の授業で発表してもらう（1回目）。

15 文献4の解説、及び研究上の論点の指摘（2回目）。これまでの授業のまとめ。

予習課題 なし

復習課題 なし

3. 使用教材(Teaching materials)

文献1 : Sanders, Thomas Henry, Henry Rand Hatfield and Underhill Moore, *A Statement of Accounting Principles*, New York: American Institute of Accountants, 1938.

文献2 : American Accounting Association, *Accounting and Reporting Standards for Corporate Financial Statements, 1957 Revision*, 1957.

文献3 : Moonitz, Maurice, *The Basic Postulates of Accounting*, Accounting Research Study No.1, New York: American Institute of Certified Public Accountants, 1961.

文献4 : 須田一幸編, 『会計制度の設計』, 白桃書房, 2008年.

文献5 : Sloan, Richard G., "Do Stock Prices Fully Reflect Information in Accruals and Cash Flows About Future Earnings," *The Accounting Review*, Vol.71 No.3, July 1996.

文献6 : Barth, Mary E., John A. Elliott and Mark W. Finn, "Market Rewards Associated with Patterns of Increasing Earnings", *Journal of Accounting Research*, Vol.37 No.2, Autumn 1999.

他に関連文献があれば、適宜紹介する。また、受講者と相談の上、使用教材を変更することがある。

4. 成績評価の方法(Grading)

評 価 の 要 素	ウエイト
出席率	10 %
授業への参加度 (事例, 討論, 調査)	50 %
ホームワーク (事前課題の提出)	40 %
小テストないしクイズ	0 %
試験ないしプレゼンテーション (最終課題)	0 %

5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)

秀 (100~90) : 取り扱った財務会計の文献、及び授業で指摘した論点をほぼ理解しており、財務会計分野の研究を行う基礎がほぼできている。

優 (89~80) : 取り扱った財務会計の文献、及び授業で指摘した論点を十分に理解しており、財務会計分野の研究を行う基礎が十分にある。

良 (79~70) : 取り扱った財務会計の文献、及び授業で指摘した論点をある程度理解しており、財務会計分野の研究を行う基礎が概ねできている。

可 (69~60) : 取り扱った財務会計の文献、及び授業で指摘した論点の理解が十分ではない点が目立つため、財務会計分野の研究を行う基礎の確立に少し不安がある。

不可 (59~0) : 取り扱った財務会計の文献、及び授業で指摘した論点を理解していないため、財務会計分野の研究を行う基礎ができているとは言えない。

6. 履修上の注意事項(Remarks)

授業への積極的な参加、発言を求めます。